

中山間地の子育てについて ～津山市阿波地区と笠岡市真鍋島との交流を通じて～

社会福祉学科 有岡道博

(1) 調査・研究の内容

これまでの経過

平成24年度からの調査活動により、本土では少なくなった子育てのできる地域社会が二つの島に残っており、自然をはじめとして子育て環境も豊かであることを明らかにした。その中で、10代後半から30代前半までの女性がおらず、同世代の男性の人数もわずかであること、同級生のいないことも多く、子ども集団としての社会体験の少ないことが課題としてあがった。

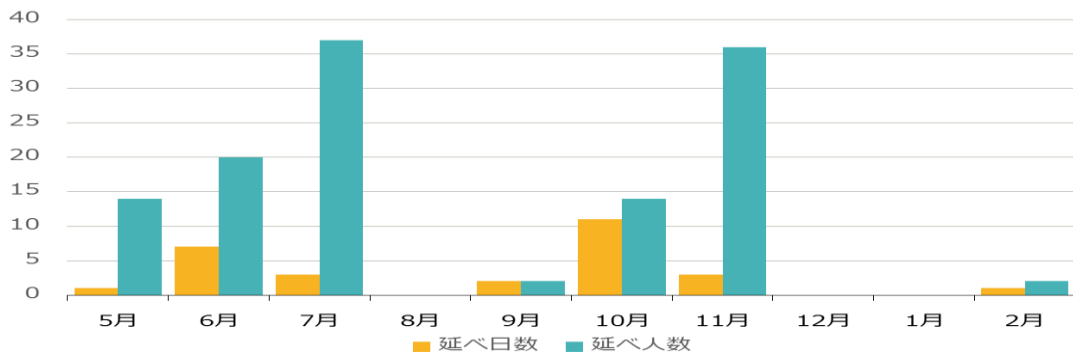
活動目的

- ① 現地踏査を基本として、積極的に地域住民・子どもと話しあいを行ないながら、地域課題の解決に向けてともに協働して取り組んでいくアクションリサーチを展開する。
- ② 保護者には、本土の子どもや保護者との交流を通して島の良さを再発見し、島の子育てについて自信を持っていただく。
- ③ 子どもたちにとっては、他の地域の子ども（津山市阿波）と交流することによって、社会経験を深め、島について新たな視点から考える機会とする。

活動内容

- 5月 ・島の大運動会（28日）
- 6月 ・六島まち協会議出席（1日）
・キャンプ下見（1日）
・キャンプ実行委員会議（10日）
・六島小運動会とその準備（1日～4日） ・スイセン植えるカムツアー（18日）
- 7月 ・キャンプ実行委員会議（12日）
・キャンプだよ！全員集合 in 真鍋島（21日～23日）
- 9月 ・六島スイセン草刈り（11日～12日）
- 10月 ・六島環境整備とお祭り準備（1日～4日、16日～17日、23日～24日）
・どんだけ回すねん！六島大鳥神社祭り（8日）
・防災マップ打ち合わせ（15日）
- 11月 ・六島オクトーバーフェスト（4日）
・防災マップ・芋煮作り（22日～23日）
- 12月 ・阿波キャンプ実行委員会(19日)
- 1月 ・阿波キャンプ実行委員会(16日)
- 2月 ・阿波保護者へのキャンプ説明会(6日)
・防災マップ修正（9日）
・キャンプだよ！全員集合 in あば村（17日～18日）（インフルのため中止）
- 3月 ・報告会 真鍋島 六島（7日）

月別活動日数と人数（延べ）



主な活動について

1. 島の大運動会

場 所：笠岡市北木島

日 時：5月28日（日）

参加者：2500名 学生12名 教員1名

内 容：笠岡諸島の人が集まって運動会を楽しむ。

学生：運営補助、競技への参加

時間	内容	学生参加人数
5:30	津山発	
9:15	開会式	
10:00	ソフトボール	石原・小川
	鬼ごっこ	スタッフとして参加（10）
12:00	極真空手	
13:00	石のサイコロリレー	石原
13:20	長縄跳び	松下・楠山・久保
13:40	借り人パン食い競争	田中
13:55	玉入れ	藤永・伊藤・藤井
14:20	島対抗リレー	
14:30	閉会式	
15:30	片付け・解散	

2 スイセン植えるカムツアー

場 所：岡山県笠岡市六島

日 時：平成29年6月18日

参加者：約50名

学生3名 教員1名

内 容：島外の人とともに水仙を植え、島を歩く。

学生：運営補助



3. キャンプだよ全員集合！in 真鍋島

場 所：笠岡市真鍋島

日 時：平成29年7月22日～23日

参加者：子ども24名 保護者10名

学生15名 教員1名

内容：津山市阿波の子ども（10名）とキャンプを楽しみ、絆を作る。

学生：キャンプの運営

1日目	2日目
6:30 阿波発	6:00 起床
11:00 開会式	7:30 朝食
11:15 海水浴	8:30 真鍋の宝物探し
12:30 バーベキュー	9:30 海水浴 おやつ作り
14:00 レクリエーション	11:30 昼食
16:30 飯盒炊飯・夕食	12:30 片付け
19:30 キャンプファイヤー 肝試し	13:00 閉会式
22:00 就寝	18:00 阿波着



4.大鳥神社の回し神輿

場 所：笠岡市六島

日 時：平成 29 年 10 月 8 日

参加者：島の方、島外の方 50 名程度

学生 2 名 教員 1 名

内 容：祭りを楽しみ交流する

学生：祭りの準備、担ぎ手



5.六島オクトーバーフェスト

場 所：笠岡市六島

日 時：平成 29 年 11 月 5 日

参加者：学生 11 名 教員 1 名

内 容：島の麦で作ったビールや

他の手作りビールを

島外の人とともに楽しむ。

学生：各ブース…ビールの販売・提供

麦 畑…種植え体験手伝い



6.防災マップ作りと炊き出し体験

場 所：笠岡市真鍋島

日 時：平成 29 年 11 月 23 日

参加者：子ども 12 名 学生 10 名 教員 1 名

島の住民その他約 50 名

内 容：芋煮会…子どもたちと災害時の炊き出し体験 (100 食分)

防災マップ…島内の危険箇所確認・防災マップ作製

学生：防災マップづくりの運営、炊き出し準備



7.キャンプだよ！全員集合 in あば

場 所：津山市阿波

日 時：平成 30 年 2 月 17・18 日

参加者：子ども 32 名 保護者 13 名

あば村の人 5 名

学生 10 名 教員 1 名

内容：雪遊びを通して交流

学生：運営

※インフルエンザのため中止



8.活動報告会

場所：真鍋島 六島

日時：平成 30 年 3 月 7 日

参加者：学生 2 名 教員 1 名

真鍋島 8 名 六島 26 名

内容：防災マップの説明 29 年度活動報告



（2）調査・研究の成果

島に少ない若者世代として、学生が島の大人や子ども、高齢者と一緒に課題を検討した。また、解決策について一緒に考え、解決に向けた取り組みを実践した。行事を企画実施するだけでなく、島の方が困っている環境整備、草刈、祭りの準備、祭りの手伝いなどにも取り組んだ。

島の中で活動する事によって、島の人たちに刺激を与えると共に人間関係を深め、島内の人たちだけでなく島同士、また本土の人との結びつきを深めていくことができたと考える。特に今年度は、以前あったあば村との交流を復活させ、今後の交流のきっかけを作ることができた。

今回の活動では、島（地域）の中で子ども達や保護者と共に考え、活動しながら調査をする「アクションリサーチ」の視点を意識して活動を行うことができた。様々な活動の中で子ども達は、親御さんも驚かれるほどの集中力を見せ、より積極的な活動への参加、リーダーシップの発揮、学生との人間関係の深化が見られるようになってきた。

保護者についても、行事の裏方を買って出たりと積極的に協力してくださる姿勢が多く見られた。そして、より活動を進化させるためにも、学生達とじっくり話す機会を求めてこられるようになった。なにより、回数を重ねるうちに、住民の方や高齢者の方があたたかい目で見えていただけるようになってきている。

結論として、交流行事を開催する事が新たな人間関係の形成につながっている。学生を始めとして島を訪れる人が増え、子育て力の向上と地域力の向上にもつながっている。